

JAniCA TIMES

Vol.

2

2011
JUNE

JAniCA TIMESは、JAniCA事務局の協力のもと、会員有志によって制作されています

新しい船出を迎えたJAniCA

2月27日の臨時総会で新しい理事が選出、新たな体制で2011年に望むJAniCA。しかし総会でも意見が噴出したように、若手育成からJAniCAそのものの運営についてな

ど問題は山積している。果たしてどういった方向性で執行部は舵を切っていくのか。ヤマサキオサム代表理事のインタビューと、現理事の選挙時における立候補表明で探る。

ヤマサキオサム代表理事インタビュー

—新しい体制ができた中、今季なにをいばん JAniCA として取り組んでいくべきでしょうか。

ヤマサキ 来年の6月で理事としての任期満了になるので、それまでに新人アニメーターを取り巻く環境の改善と、実際に作品を作っている制作現場の地位向上に向けて働きかけたいと考えています。実現現場のスタッフが自分たちの仕事に誇りを持てるようになり、若手が正しい技術を学ぶことができ、金銭的にも適正な金額が支払われる。そのような仕組みを、関係各社や文化庁をはじめとする省庁との話し合いの中で作っていきたいと思っています。

—若手の育成とといいますと、以前開催していた若手向けの講座は今後どうされるのでしょうか。

ヤマサキ これはジャンル創設以来の素晴らしい試みですので、先輩の意志を受け継ぎ、積極的に継続していく考えです。体制的にも、今までのやり方から一歩進めて、ご協力いただく皆さんには、仕事として継続できるよう、適正な報酬の支払いも含めシステム作りにはトライします。ベテランの優れた技術が、うまく後継に伝えられる事を期待しています。

—JAniCAの運営体制については、2月の臨時総会でさまざまな指摘を受けたと思います。それら

についてはどうお考えですか。

ヤマサキ この件に関しては、わたしが運営委員だった時代から続いている、さまざまな運営体制の問題がありました。総会でも指摘がありましたが、情報の告知や会員の意見吸い上げるため体制的な弱さ、それらに関しては否定できません。しかしながら、現在の会費収入では常駐する管理人を雇うことが困難です。組織運営には「やれること」と「やりたいけれど難しいこと」があります。そこで、会員のみなさまのご意見を頂戴するために、6月19日に意見交換会（2ページ目下段参照）を開催します。そこから前向きに進めて

いけたらと思っています。

—最後に、3月に起きた東日本大震災に対し、JAniCAとしての活動はあるのでしょうか。

ヤマサキ 前年度の若手アニメーター育成事業に参加した4社様より、チャリティDVD制作の話があり、ニコニコ動画にて販売する運びとなり、同時に募金呼びかけの動画放映も実現、たくさんの義援金を募ることができました。

復興支援に“アニメーションだからこそできること”が必ずあるはず。元気をなくしている現在の日本に、JAniCAがどう貢献していけるのか、引き続き考えていきたいと思っています。

JAniCA各理事の立候補表明

■井上 鋭

発足時の単なる理想論ではない現実的方針に賛同し会員となりましたが、現状のJAniCAを囲む状況を残念に思っております。

大多数の会員同様、一時は運営に不安を感じていましたが、堅実に地道なヤマサキ代表の行動に共感し、今後のJAniCA運営の手助けが出来ないかと考えるようになりました。

理事となった場合、『若手アニメーター育成プロジェクト』と並行して若手の技術的・経済的バックアップを考え、業界内でのJAniCAの信頼を回復させたいと思います。

■井上俊之

前総会時、予想もしない経緯で理事の欠員が出る事態になり、仕方なく立候補し理事になりました。

そうしなければJAniCAが崩壊してしまうと思ったからです。おそらく同じ理由で、その時ヤマサキ氏も理事になり、代表に選ばれました。その後行動を共にするうち、「動画の最低単価を300円に」という彼の主張は十分実現可能なのではないかと私も考えるようになりました。もしこれが実現出来ればJAniCAを支持する声は確実に増え、アニメーターを取り巻く環境の更なる改善につながる事が出来ると思います。彼の行動力、忍耐力、人柄に私は賭けたいと思います。という訳で今回は積極的に立候補します。彼が代表であるならば私は彼を支える立場でもう1期理事を続けたいと思います。

■笹木信作

4年をかけて進展してきたJAniCAの活動と、その志の灯が、摘み消されかねないという緊急性があると判断し、理事に立候補しました。

いつの時代も頼りなく移ろい、変転を繰り返してきたアニメーション業界です。私自身もその中の一人であり、業界の未来を指し示すことの困難さを、多々感じていました。

しかし、現JAniCAの活動は、未来を明確に指し示していると思います。私は、現在の代表のヤマサキオサム理事、井上俊之理事、杉野左枝子理事を強く支持する立場です。理事に選出されたら、上記の理事によって進められている、また、これから進められようとしている計画を、力の及ぶ限りサポートし、アニメーターと演出の、社会的な信頼と、その地位の向上に尽くしたいと思っています。

■杉野左枝子

①アニメーション業界、制作にかかわる者全体の社会的地位の向上を目指す

文化庁の『若手アニメーター育成事業』を滞りなく行い『メディア芸術コンソーシアム構築事業』等のような業界のための事業に協力することで周囲の信頼を得、発言力、交渉力を身につけましょう。

物事をなすにはタイミングというものがあり、今が「とき」ではないかと思われま

②JAniCAの透明性を高めて会員の不安を減少する為の作業部会を提案

具体的にどうしたらよいかを皆で考える機関を提案したいと思います。

③絵コンテ講座・パース講座などの各種講座開催

これらはJAniCAらしいものですし、技術・知識の継承に重要なものだと考えています。

理事になった場合、以上のことを目標に務めます。

■森田宏幸

日本のアニメーションは、世界中の子供たちに、夢と希望と勇気を伝えてきました。作り手である私たち自身も、そうした優れた作品に励まされ、粘り強く仕事を続けて来たのではないのでしょうか。

恵まれているとは言えない予算やスケジュールに苦悩しても、なお、この仕事を選ぶのは、価値と誇りを感じているからです。

これから先もずっと、私たちは、アニメーションという素晴らしい表現手段を発展させ、子供たち、若者たち、そして社会に貢献して行かなければなりません。

そのためにも、私たちは、自身の生活を安定させ、より豊かなものにしていく必要があります。

“豊か”とは不必要に富裕という意味ではなく、家族を養い、子供たちを育み、基本的な生活を営む事ができる、それが豊かさです。

豊かさを支えとし、我々はより長く、より深く、より広く技術を磨き、洗練させ、より良い作品へと繋げるのです。

若手アニメーター育成プロジェクト継続

本年度も若手アニメーター育成プロジェクトが行われる。4月8日よりJAriCA公式、及びプロジェクト公式のホームページにて採択が発表され、募集が開始された。

今年は全11社の制作会社から応募があり、前回同様4社が選定された。また選定の透明性を確保するため、今回は選定・評価委員会のリストも発表された（以下を参照）。

平成23年度 若手アニメーター育成プロジェクト・作品制作団体

株式会社アンサー・スタジオ

監督：川又浩 プロデューサー：木曾由香里

「南海のジュジュ」(仮)

株式会社テレコムアニメーションフィルム

監督：友永和秀 プロデューサー：竹内孝次

「BUTA」(仮)

株式会社白組

監督：こづつみPON プロデューサー：早船健一郎

「しらんぷり」

株式会社プロダクション・アイジー

監督：海谷敏久 プロデューサー：寺川英和

「わすれなぐも」

若手アニメーター育成プロジェクト

選定・評価委員会リスト

大山良 株式会社アニプレックス 課長・プロデューサー

大坂直樹 「週刊東洋経済」編集部 副編集長

鈴木美千代 アニメーター

諏訪道彦 読売テレビ放送株式会社 チーフ・プロデューサー

布山タルト 東京藝術大学 映像研究学科 アニメーション選考 準教授

本郷みづる アニメーション演出者

水島精二 アニメーション監督

本橋秀之 アニメーター

ヤマサキ代表理事に聞く「本年度の若手アニメーター育成プロジェクト」

——今年度も「若手アニメーター育成プロジェクト」が継続されることになりましたが、どう運営し、見守ってきたいですか。

ヤマサキ 昨年我々理事らは不慣れであったため、事業運営に時間を割けませんでした。にもかかわらず、各制作会社は個々の実力を存分に発揮され、すばらしい作品が完成させていただきました。この取り組みに参加した若手アニメーターの中には、名指しで仕事

が来るようになった事例もあって報告を受けています。今年度は前回の良いところを採り入れ、事業運営に対し、さらなる積極的なサポートをしていきたいです。

——選定された4社にどういった点で期待されていますか。

ヤマサキ 前年度に引き続き採択された2社については、すでに若手育成のノウハウがあるので、ほかの2社にもそのノウハウをフィードバックしてもらいたい

ですね。同時に前回の作品がどちらもすばらしかったので、今年は更なる完成度を期待しています。

アンサースタジオさんの企画は、海が舞台になっています。海の表現というのは、日本のアニメーションが追求し続けてきたもので、本当に難しい。色彩や陰影、レイアウトなど、どこまで計算してひとつのカットを仕上げているのか。果てしない作業の積み重ねです。簡単に言うと、どこかで諦

めた瞬間にすべてが崩れていく。そこにどう立ち向かっていくか。楽しみです。

白組さんは、どちらかという短編アート系アニメーションの色合いが強い。それを30分の完結した作品として、どう落とし込むのか、非常に興味があります。また、アート系の作品を作りながら人を育てるという機会、そうそうありません。おもしろいチャレンジだと思っています。

PROJECT A 売上全額被災地に寄付

昨年度の若手アニメーター育成プロジェクトで制作された作品がDVDとしてニコニコ直販にて販売。なおこの売上は全額、東日本大震災の被害者支援のため、中央共同募金会を通じて被災地に届けられる。

「PROJECT A」

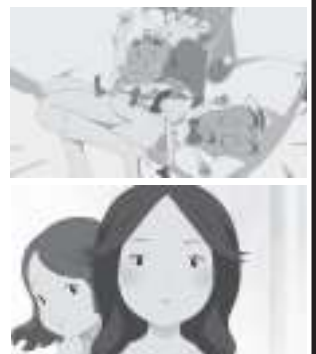
制作 アセンション

テレコムアニメーションフィルム

P.A.WORKS Production I.G

1800円(税込) ※送料無料で

<http://chokuhannicovideo.jp/products/detail/433>



JAriCA INFORMATION

JAriCA における情報・意見交換会・開催

「JAriCAの情報や意見の流れがもっとよくなるだろうか」指摘されたことを受け、JAriCAが情報・意見交換会を実施。インターネットが中心と

なってしまうJAriCAの伝達事項を、広く会員に伝える方法や、現在失われている無料正会員の総会における議決権について、会員の意見を求めている。

日時： 2011年6月19日(日)13時～16時

場所： 国分寺市立本町・南町地域センター

東京都国分寺市南町3丁目2番1号

参加資格： JAriCA会員

定員： 25名(定員に達し次第締め切り)

申込開始日： 6月9日

申込方法： JAriCA公式ホームページの申込フォームか、

042-325-5511(杉野左秩子)まで